



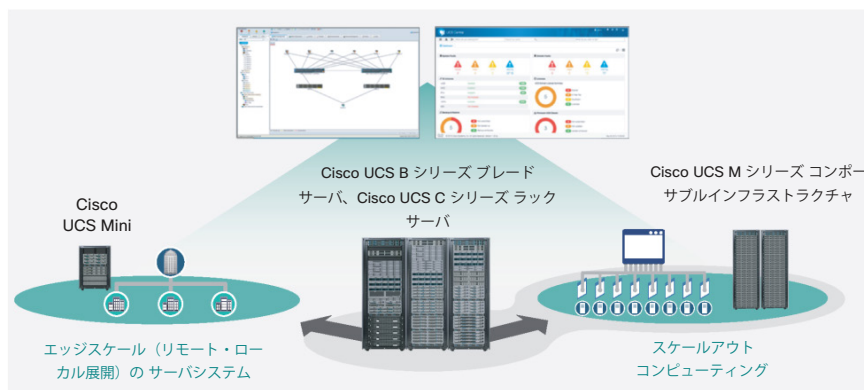
Cisco UCS 管理： Cisco UCS Manager および Cisco UCS Central Software

日常的な運用の自動化と合理化

Cisco UCS 管理ソフトウェアは、ポリシーベースの自動化機能と管理役割（ロール）にそったアクセス制御により、データセンター インフラストラクチャを規模に応じて効率的に管理、運営できるように支援します。この緊密に統合された管理ソリューションは、コンピューティング（サーバ）とローカルストレージリソース、およびストレージとネットワーク接続の設定・運用（プロビジョニング）、モニタリング、管理などの日常的プロセスを合理化するためモデルベースの基盤を提供します。Cisco UCS 管理ソフトウェアでは、ソフトウェア定義型ポリシーを使用します。このポリシーで、接続、サーバ設定、およびファームウェア設定を 1 度定義すれば、次回から常に同じ設定を展開利用できます。ポリシーベースおよびモデルベースのアプローチによって、意図した構成から逸脱・バラバラにならないように環境を管理できます。また、設定時間の短縮、柔軟性の向上、一貫性の確保、および手作業設定によるエラー発生リスク軽減などのメリットがあります。

Cisco UCS Manager には、Cisco UCS インフラストラクチャのすべてのソフトウェアおよびハードウェア コンポーネントに対する統合管理機能が組み込まれています。Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバおよび C シリーズ ラックサーバ、[コンポーザブルインフラストラクチャ](#)が特長の Cisco UCS M シリーズ モジュラ サーバ、および Cisco UCS Mini などのコンポーネントに加えて、ストレージおよびネットワーク接続に対応します。このインフラストラクチャは、モデルベース アプローチによる管理を実現することで、IT サービスの展開に要する時間を短縮し、設定・作業エラー原因によるダウンタイムを大幅に削減します。Cisco UCS 管理が提供するポリシーベースの自動化により、インフラストラクチャ運用の俊敏性、統合性、および拡張性が強化されると同時に、複雑さとリスクを軽減します。また、定義済みのサービス プロファイルやテンプレートを使用して、ロールベースおよびポリシーベースの柔軟な管理を実現します。

図 1. Cisco UCS 管理ソフトウェアは、Cisco UCS 製品シリーズ（ポートフォリオ）をすべてカバーする管理ツールです



利点

- 運用の合理化：**
定期的なタスク(操作作業)を自動化することでサポート運用コストを大幅に削減できます。
- 柔軟性と効率性の実現：**IT チームの俊敏性とビジネスへの対応力を強化できます。
- 管理の統合：**データセンター、クラウド、リモート・ローカルシステムなどの環境でも、すべての処理・負荷を管理できる。
- 拡張性：**ローカル ストレージを含めた、ネットワーク接続された数千ものサーバの管理、サポートが可能。
- 従来のシステムの活用：**さまざまな既存の管理ツールとの統合・連携が可能
- リスクの軽減：**ポリシーベースの自動化によるベスト プラクティス（設定例）の実装。

シスコからの委託により Forrester Consulting が実施した調査では、Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) のお客様へのインタビュー結果について次のように報告されています。

「インタビュー対象の組織が挙げたもう 1 つの重要なメリットは、Cisco UCS を導入した結果、柔軟性が向上したということでした。柔軟性の向上とは、すなわち IT チームの俊敏性と対応力が強化されたということを意味します」

「Cisco UCS によって、サーバの実質利用開始までの時間も短くなりました…プロジェクトに必要な期間が 75 % 短縮されたのです」

出典：Forrester Consulting、『The Total Economic Impact of the Cisco Unified Computing System (Cisco Unified Computing System がもたらす総合的な経済効果)』2014 年 7 月 [英語]

次のステップ

データセンターのリソースを一元的に把握できる仕組みを活用して、シスコと業界トップクラスのパートナーは、お客様がシスコのユニファイド コンピューティングアーキテクチャに移行し、現在の運用を最適化してビジネス ニーズに対応できるよう支援するサービスを提供しています。

詳細については、以下を参照してください。

- [Cisco UCS Manager](#)
- [Cisco UCS Central](#)
- [Cisco ユニファイド コンピューティング](#)

投資を保護しながら変化を推進

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS システム (ドメイン) 全体を対象とした一元管理を実現します。Cisco UCS Manager のソフトウェア オブジェクト モデルと [XML API](#) は、[Cisco® SingleConnect テクノロジー](#) と連携して、サーバ・ネットワークインフラをソフトウェアで定義できます (コードとして処理)。このアプローチによって、サーバ、ネットワーク、ストレージの設定 (プロビジョニング) にポリシーベース モデルが適用され、物理的ハードウェア個別の依存性をなくし、最適に設定できるようになります。

Cisco UCS Central を使用すると Cisco UCS Manager の能力が拡張され、最大 10,000 台のサーバを管理できるようになります。このソフトウェアは、サービス プロファイル、プール、ポリシー、およびファームウェアの管理・設定機能があり、複数の分散する UCS システム (ドメイン) を管理できます。サーバ・コンピューティングをエンドユーザに近い場所に配置しつつ、インフラストラクチャは、一元的に管理できるため、全社的、海外を含む分散規模での作業も簡単になります。

Cisco UCS Manager と Cisco UCS Central はどちらも、使いやすい HTML 5 のユーザ インターフェイスを提供します。Cisco UCS Central の複数 UCS システム (ドメイン) の全体表示 (ダッシュボード) では、システム構成 (インベントリ)、システムの状態、および障害発生の情報や統計情報が提供され、キーボード、ビデオ、マウス (KVM) により個別 UCS ドメインにアクセスが可能です。ドメインを最初にセットアップするときに、運用ポリシー、ID プールなどが確立されます。ポリシー管理によりグローバル ポリシーおよびサービス ポリシーが提供され、ドメイン全体を通して標準化が容易になります。このインターフェイスを使用して、数千規模のサーバ全体におよぶ複数のドメインや複数のデータセンター環境を一貫して運用、管理できます。

グローバル リソース情報とポリシーには、API を介してアクセスできます。複数のドメインのインベントリ情報、障害情報、および監査情報を収集、モニタできるため、Cisco UCS インフラストラクチャの IT サービス保証 (SLA 管理) に役立ちます。このオープン API は、Cisco UCS Manager と、シスコおよび独立系ソフトウェア ベンダー (ISV) のさまざまなツール (モニタリング、分析、設定、導入、およびオーケストレーション) との統合を可能にします。この [API](#) により、Cisco [UCS PowerTool](#) (Microsoft Windows PowerShell および [Python ソフトウェア開発キット \(SDK\)](#) 向け) を使用した [カスタム開発](#) も簡単になります。また、運用関連の統計情報を Oracle、Microsoft SQL、PostgreSQL などのデータベースに取り込み、独自のレポートやグラフを作成することができます。シスコが提供する開発者向けサイト (DevNet) やコミュニティにて開発者向けに様々な情報が掲載されています。

Cisco UCS 管理ソフトウェアは、オープンなソフトウェアで、UCS ブレードサーバ・ラックサーバなど従来のサーバインフラストラクチャだけでなく、Cisco UCS M シリーズおよび Cisco UCS C3260 ラック サーバ* のようなコンポーザブルインフラストラクチャなど異なる種類のインフラストラクチャにも対応します。Cisco UCS 管理ソフトウェアにあらかじめ用意された XML API を使用して、Cisco UCS 内のコンピューティング、ストレージ、およびネットワークのリソースを迅速かつ動的にプロビジョニングできます。この API により、システム、運用、オーケストレーション、および変更管理に関するさまざまなツールと緊密に統合できます。また、より高いレベルのデータセンター管理フレームワークに統合するために、XML API を利用してクラウドネイティブなアプリケーションもサポートされています。シスコは、実績のある統合的、完成度の高いエコシステムを保有しており、シスコソリューション パートナー プログラムやシスコ相互接続試験 (IMT) プログラムを通じて、検証された相互運用性の情報を提供しています。

*注：Cisco UCS Manager による Cisco UCS C3260 統合管理は、2016 年後半のリリースバージョンでサポート予定です。